



クアドリーリャ

イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：360千円（平成30年度）

第3回 フェスタ・ジュリーナ na SUAC 2018

目的・趣旨

ブラジルの伝統的な祭りに多国籍の彩りを添えたイベントを開催することで、本学学生や地域の方々の異文化理解を促進すると同時に、本学への進学を目指す外国人を対象とした多言語でのキャンパスツアーを行う。

日時・場所

平成30年7月7日 午前11時から午後4時
静岡文化芸術大学 3階学生食堂（雨天のため）

体制

（実施代表者）文化政策学部 国際文化学科 教授 池上 重弘

共催・後援等

（共催）日伯交流協会
（後援）静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、在浜松ブラジル総領事館
公益財団法人浜松国際交流協会、公益財団法人静岡県国際交流協会

内容

ブラジルで行われている伝統的な祭り、フェスタ・ジュニーナを再現した装飾、飲食、ゲームなどに加え、6言語のキャンパスツアーによって外国人の若者やその保護者に日本の大学を知ってもらう機会とした。また、日本人向けに外国の文化を知ることができる展示コーナーを用意した。今年度は学生実行委員会、当日学生ボランティアにブラジルだけでなく、フィリピン、インドネシア、韓国につながる学生が参加した。また、より多国籍なイベントとなるようにフィリピンの軽食や飲み物を用意したり、ダンス部門ではインドネシアのガムランの演奏とダンスを招いたりした。



ブラジルのゲーム



ポルトガル語でのキャンパスツアー

結果・成果

日本人、ブラジル人、フィリピン人、インドネシア人など、各国の人々が集まり、ブラジルやフィリピンの軽食と飲み物、ゲーム、ダンスを楽しんだ。また、本学公認サークルSuara Candaのメンバーによるインドネシアのバリ島のガムランの演奏と踊りの披露、Forróというブラジルのダンス教室であるBrasilA2のパフォーマンスを招いた。お互いに初めて感じる文化であったとの声もあり、意義のある異文化交流の機会となった。

会の最中に2回、本学のフェスタ・ジュニーナの最大の特徴である、日本育ちの定住外国人学生による多言語キャンパスツアーを行った。ブラジル人学生によるポルトガル語ツアーやフィリピン人学生によるタガログ語ツアーには、大学に進学したい気持ちを持つ多くの外国人の子どもやその保護者が参加し、学内を見学して回った。イベント終盤のクライマックスである参加型のダンスでは、手を取って踊り交わすクアドリーリャ、各自が色とりどりのリボンの端を持って棒の回りを踊りながらたくさんのリボンを棒に巻き付けてゆくりボンダンスを行った。それらのダンスでは、本学学生のみならず、ブラジル人やフィリピン人の来場者も踊りに加わり、国籍を超えた交流の機会となった。



学生実行委員会のメンバー



リボンダンス